

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年 2月 10日

討議年月日 2024年1月24日

事業所名 Family はじめのいっぽ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		児童数に合わせ、基準よりも多く配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		バリアフリーの環境にはなっていないが、利用していただいているお子さんの状況に合わせた環境整備を心がけている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			毎日の振り返り、朝のミーティングの際には、前回の振り返りを行ったうえでその日の支援方法の計画を立てている。広く業務改善という意味では、その都度対応したり、月1回のミーティングにて検討しているが、内容を充実させていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			前回の自己評価アンケート結果も参考にさせていただき、業務改善を実施しているが、今回も参考にさせていただき改善を行っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後の課題として、検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月1回事業所内スタッフで、研修を実施。外部研修にも参加している。	今後も、積極的な外部研修の機会を設けていきたいと考えている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			他機関での様子も、今まで以上にアセスメントに含め、子どもの生活全般を踏まえた計画書の充実に努めたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月のテーマをチームで決定、共有している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		同月は、同じプログラムを繰り返すことで、活動目的の習得を目指しており、だいたい1か月毎にテーマを変えている。月の中で、ひとつのテーマを発展させて実施している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		活動時間に応じて、活動時間のタイムスケジュールを設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用時は基本的に、個別活動と集団活動の時間を、設けている。	個別活動内容の充実やスタッフ一人ひとりの技術アップを日々計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、支援開始前に、スタッフでミーティングを行い、その日の子どもの様子を振り返り、今後の支援の確認をしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日、支援開始後に、スタッフでミーティングを行い、その日の子どもの様子を振り返り、今後の支援の確認をしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			活動内容に合わせた記録(振り返り)を行い、次の活動につなげられるようにしていきたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校への訪問も必要に応じて行っており、担当者会議にも参加している。	今後も、積極的に連携を行っていけると良い。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○		法人内は出来ているが、法人外はなかなかできていない。今後、地域での連携を深めて、情報共有を積極的に行っていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—			該当者なし。今後実施していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			必要性に応じて、関係機関と電話や訪問、会議への参加などにより、連携をしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		今後検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			個別のケースで相談などを行っている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			毎回、送迎時などに、子どもの状況について、情報共有している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			保護者とのコミュニケーションの時間を大切に、支援にあたっている。	保護者との情報交換や交流の時間を、より充実させていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		保護者のニーズに合わせ、実施していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			玄関横に、活動内容の様子やその目的や効果などを、掲示している。	
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている			○		地域に密着した活動も行っていけたらよいと考えている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				マニュアルはあるが、今後、様々な状況を想定した充実した内容を整えていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				保護者の方も交えた訓練を実施していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			該当者なし。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			保護者を通じて、医師の指示を確認し対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				